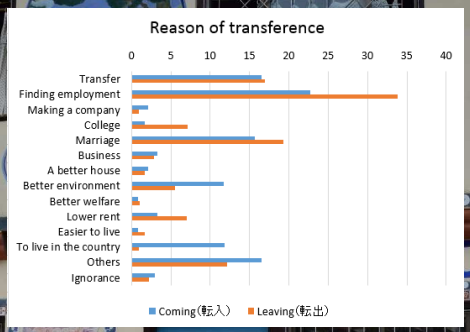
Think Globally through Local Problems in Tamba
~Learning Lifestyle in Bhutan~

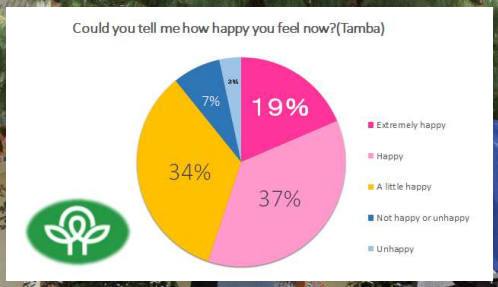
A40

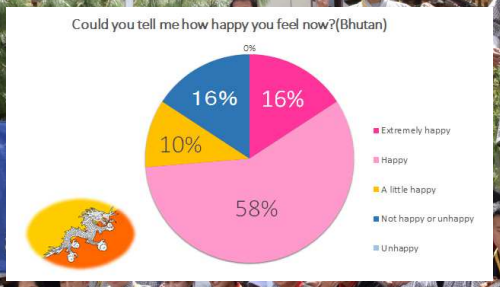
Hyogo Prefectural Kaibara Senior High School



Our area has many problems.
- decrease in population
- decreasing birthrate and aging of the population
- giving up farming
- leaving of the forest(Satoyama)

Study tour to Bhutan
2016/08/22～29





Investigation about happiness(Tamba and Bhutan)

Public information magazine of Tamba City

ええなぁ TAMBA 地域の魅力発信

県立柏原高校2年1組 知の探究コース GNH探究部

キラッと光る丹波市の「人」「もの」「こと」のええとこを紹介します。

市の課題解決方法を探究
キーワードは「幸せ」

柏原高校の知の探究コースは、独自の「探究」の授業で、市の課題について探究しています。その中で、GNH（国民総幸福度）探究部は課題解決には、市を幸せにすること・市から幸せを発信することが必要だと考えました。課題に真摯に取り組む高校生たちの思いを紹介します。

市の課題解決と幸せの関係

GNH探究部は、市の課題である人口の流出を止めるには、多くの人が市に住みたいと思う、新しいライフスタイルが必要ではないかと考えました。"理想は、住んでよかった、住んで、「幸せ」を感じ、住んでよかったと、「幸せ」に慣したくなるライフスタイル。具体的なライフスタイルを探究し、「丹波市を幸せにする」、丹波市から幸せを発信する」のが探究部の目標です。話し合いを進めるうちに、そもそも幸せって何なんだろうと疑問に思い、調べ始めました。

GNH探究部　ブータン王国へ

名前にあるGNH（国民総幸福度）とは、ブータン王国の「国の発展と国民の幸せの両方を大切にする」という考え方です。この考え方にヒントを得て、幸せとはどうすれば分からないと思い、夏休みを利用して実際にブータン王国に行きました。

考え方の違いを調査

部では、ブータン王国と日本の「幸せ」についての考え方を調査しました。市内の高校や駅前での調査をはじめ、ブータン王国では、風景の小学生や高校生と交流し、聞き取り調査をしました。

ブータンと、と尋ねると、多くの高校生が友達や家族が幸せであることと答えました。一方、国王が幸せなことと答える子も。日本では自分や身近な人の幸せについての回答が多かったのに驚きました。ブータン王国の人は日本と比べて自分以外に対する興味が強いなと感じました。穏やかな空気に包まれていて、日本とは流れる時間が違うようでした。

丹波市を幸せにするには

今後は、ブータン王国と市内での調査結果を基に、丹波市を幸せにするにはどうしたらいいかを考えます。市民が少しでも幸せになれるような方法やヒントを見つけて、広める場をつくりたいです。そして、少しでも市の課題にアプローチできればいいなと。

2016.10 たんば 10

TAMBA Family Day

proposition to the mayor!

GNH（Gross National Happiness）
4本の柱（4 Pillars）
1. Promotion of sustainable development
2. Conservation of the natural environment
3. Preservation and promotion of culturalvalues
4. Establishment of good governance

Improvement of our lifestyle
for example ･･･ ･･･
- working hours －8 hours
- school closes －5 o'clock